



曾於市立 岩南小学校

児童数 10 人
学級数 2 クラス



《テーマ》 よりよい人間関係の育成をめざす教育のあり方 ～自己理解の育成を中心に～

研究に当たって（テーマ設定の理由）	研究の実際 <small>下線部は講師招聘</small>
<p>本校は、在籍2学年の極小規模校である。学校教育目標「一人一人がかがやき、共に学び合う子どもの育成」を達成するためには、自分のことを理解し、その上で自分も友達も大切にできるようになることが必要である。自己理解がよりよい人間関係づくりの第一歩となることから、本テーマを設定した。</p>	<p>☆朝の活動「仲良しタイム」年間 15 回 ☆毎月 15 日は、「心の教育の日」</p> <p><u>6月14日</u> 人権教室 <u>7月21日</u> 職員研修 12月12日 人権集会 <u>12月12日</u> 家庭教育学級（人権学習会） ☆いじめ問題を考える週間（4・9・1月）</p>

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

- **自己理解・レジリエンスを高めるための取組**
 - ・ 幸せの4因子^(*)のうち「なんとかなる」を今年度の重点項目に設定し、気持ちの切り替え方について学んだ。
 - （*）「やってみよう」「ありがとう」「なんとかなる」「ありのままに」～「幸せのメカニズム」慶応義塾大学 前野隆司教授より～
 - ・ 気持ちを自覚化するゲームやネガティブな感情をコントロールするワークに取り組んだ。
 - ・ こころの天気を記録し、気持ちの変化について話し合った。
- **人権教室・人権集会**
 - ・ 自分の気持ちを伝え合うために、コロコロトークキングを行った。ゲームを通して感じたことをグループで話し合った（人権教室）。
 - ・ 友達の気持ちを知りもっと仲良くなるために、人権に関する作文を発表し、考えを交流した（人権集会）。
- **PTA人権学習会**
 - ・ 当たり前だと思ってきたことを改めて見つめ直すために、多様な性の理解や子どもの権利条約、こども基本法について学んだ。



【仲良しタイム】



【PTA人権学習会】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと）

- 自分の気持ちを客観的に理解し、気持ちを切り替えることができるようになってきた。友達に対しても頑張りやよさを認め、前向きな気持ちで接することができるようになってきた。
- 全ての教職員が一緒に研修を受けることで、方向性を揃えて指導に当たることができた。
- アンコンシャスバイアスについての研修を深め、子どもの可能性を信じて、更に伸ばせる教職員集団にしていきたい。